

令和3年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 **最終**)

川尻中学校区 校番 19 学校名 川尻中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	B	〇コロナ禍でのペアグループ活動の指標に無理があったのではないかと。また、ペアグループ活動ができない教科があるのではないかと。
目標達成のための方策の適切さ	A	〇良いと思います。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	〇概ね適切 〇良いと思います。
今後の改善策(案)の適切さ	A	〇良いと思います。 〇妥当
その他		<p>〇コロナ禍の中、様々な取組が行いにくい状況が続き大変だと思えますが無理をせず、一步一步地道にこなしてください。</p> <p>〇家庭学習が定着することは大変よいことだと思います。よろしくお願いします。</p> <p>〇パワーポイントのスライドの資料を学校関係者評価委員会の資料の中に入れてのほうが見やすかったと思います。</p>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

<p>学校関係者評価を受けての今後の改善策</p>	<p>第3回の学校関係者評価委員会は、「まん延防止等重点措置」の期間であったことから学校での開催を控え、委員の方から書面資料での評価と1年間の取組について貴重なご意見をいただいた。そのご意見を踏まえ、新型コロナウイルス感染状況下で今できることは何かを再確認し、来年度に向け評価・改善していきたい。</p> <p>基礎学力の充実については、課題の提出を生徒の実態に応じて、担任と保護者で連携をとり、個別に指導していきながら取り組ませ、提出を促すようにする。また、毎週水曜日の川中タイムを活性化。主体的な学びへの授業改善として、授業交流を行う期間を設定し、校内で意見交流を行う活動を工夫・充実させていく。また、次時に向け学習意欲を高め継続させていくため、日々継続して学習に取り組むことが重要であることを説き、実践していくよう指導していく。</p> <p>豊かな心・健やかな体については、4動作の挨拶は授業や部活動でおおむね実施でき、目標値は達成しているもののはっきりと大きな声で相手に伝えるという点で課題がある。引き続き1・2年生生徒会中心に委員会や部長会で取組を進めていく。自ら進んで行う掃除では、前向きな声かけや肯定的評価をし、生徒が自ら考えて意欲的に掃除に向き合い自主性が生まれるよう指導していく。夢や目標への挑戦と自尊感情の向上では、夢や目標を持っている生徒の割合が目標値85%を5ポイント下回っていることから、コロナ禍で中止の取組を各学年の実態や発達段階に応じて工夫・改善し育成していく。体力向上では、コロナ禍の中、運動をする状況が極端に減っていることや運動に対する制限が多いことからさらに体力低下が予想される。体力向上と合わせて、体育が楽しい、運動が楽しいと生涯運動に親しめる態度も醸成していきたい。食育の推進では、これまで昼食時間を確保し、残食を減少させる取組を行ってきたが、食事時間の確保と衛生面から12時50分までに配膳完了は必要だが、別の視点でも食育の推進を検討していきたい。</p> <p>信頼される学校については、不祥事防止に向け、これまで行ってきた研修を継続し未然防止への意識を醸成するとともに、職場内で気軽に声を掛け合える風通しの良い職場環境を整えていく。生徒と向き合う時間の確保では、職朝での日報配布、会議等の事前確認による時間短縮や生徒理解・指導面の情報共有を常に行い、課題に対して素早く継続して組織的に取り組む。長時間業務の削減では、時間外勤務年間平均時間は23時間43分で目標の45時間を大きく下回っているが、特定の職員が45時間を超える月がある。年度当初や行事等で繁忙期に勤務時間が増加していることから、先を見通したスケジュール管理や、分掌・学年が協力して業務を行えるよう促し、職場全体で時間外勤務時間を減少させていく。</p>
---------------------------	---